

事務事業	14022	小学校クラブ活動助成事業	担当課	学校教育課	担当係	学校教育係
------	-------	--------------	-----	-------	-----	-------

計画 後 期 計 画 系 画	施策	06	子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	190	学力向上と豊かな心を育てる		款	10	教育費
					項	2	小学校費
					目	2	教育振興費

法令根拠条例等		個別計画
---------	--	------

実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	不明	年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度~	年度
------	---------------------------------	---	----	--------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 主として4学年以上の同好の児童で組織するクラブで使用する備品及び活動に要する費用を補助し、経済的負担を軽減する。		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
		主 な 事 業 費 の 内 訳	消耗品費
			557 千円
			クラブ活動備品購入費
			98 千円
			講師謝礼金
			27 千円
			千円
			千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 学校クラブ活動で使用する備品・消耗品の購入、その他クラブ活動に要する費用を支出する。	事務事業の目的
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 小学校児童、クラブ	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 児童がクラブで活動しやすくする。 クラブ活動を円滑に運営できる。	

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア クラブ活動にかかる町費負担額	千円	675	682	803 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 小学校児童数	人	3,176	3,189	3,144 (見込)	
イ クラブ数	クラブ	62	62	62 (見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
名称	単位		29年度	30年度	31年度
ア クラブ参加児童率	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	100.0	100.0	
イ 円滑に運営されたクラブの割合	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	100.0	100.0	
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	729	800	682	803		
		合計(A)	729	800	682	803	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	375	319	367	698		
	トータルコスト(A)+(B)	1,104	1,119	1,049	1,501	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
開始年度は不明。学級を離れて他の学年も含む同好の仲間と活動を行うための必要経費を町が負担する。	年々就学援助対象児童の割合が増加しており、通常の教材費等の負担も厳しい家庭が増えてきている。	意見要望はないが、助成について保護者からは、大変喜ばれている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→) ② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	クラブ活動を通して、児童の自主性・社会性を育成し、個性の伸長を図ることを目的としており、義務教育の充実に結びつく。 教育課程の一環であり、町が行うことは妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	備品のさらなる充実等を望む声もなく、現状で成果を十分にあげられている。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	保護者の経費負担が発生し、クラブ活動内容等に制限が生じる可能性がある。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	事業費は、クラブ活動にかかる消耗品、備品の購入費、講師謝金にあてられているので、削減されると活動自体に制限が生じる。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

現在は、クラブ活動にかかる消耗品費、備品購入費、講師謝金を予算計上している。今後児童数の大幅な増減があれば消耗品費等の変更が予測されるが、当面は現状の予算で実施していくこととする。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	